

○ アマゾンに学ぶ ～ 小此木さんの出前授業 ～



2月10日(月)、ブラジリアのJICAにお勤めの小此木宏明さんが来校し、アマゾンの環境についてお話いただきました。ブラジル政府の組織IBAMA(アマゾンの違法森林伐採を取り締まる)に技術協力をして、人工衛星やドローンから監視し、一緒に現地に行き、取り締まりの手伝いをすることもあるそうです。これらの経験を通して、アマゾンの・生き物(生態多様性)・水(淡水資源)・空気(気候変動)について詳しくお話いただきました。

Qぼくたちのできることは? A知ること。  
Q危険な所? Aコロンビア・ベネゼエラ国境付近と金鉱山。  
QなぜJICAで働いている? A海外で自然を相手にする仕事に就きたかった。

<子どもの感想>  
人間は自然に助けられているのに、人間が自然を破壊してると思うと悲しい。  
学ぶことがいっぱい大切な時間でした。

○ これぞ日本の力 ～ 食品サンプル展に行きました～



2月11日(火)、在リオ日本国総領事館広報文化センターで開催されている「日本の産業紹介・食品サンプル展示会」の見学に行きました。

初めに領事・中野様より、来年度がブラジルと日本の関係が注目の年であること、日本の節日やお話を聞いたり、その後、展示物を見学しました。どれも本物のようでした。日本食は特に食べたいです。また、イヤリングやペンダントなどの加工品はひとつお土産に欲しくなります。

私の父の生家は浅草。近所のかっぱ橋で眺めたことを思い出しました。これぞ日本の力を存分に味わいました。

○ サンバが踊れるようになりました!



2月26日(火)、サンバダンサーの工藤めぐみさん(PASSISTA DE SALGUEIRO)が来校し、講話とダンス教室をしてくださいました。

サンバを始めました。阪神大震災で被災された神戸市が母の小学校を連れたことです。サンバの本場を知らず、19歳で単身リオに住み、数々の困難を乗り越えSALGUEIRO(サンバチーム)のPASSISTA(チームの中心ダンサー)に選ばれました。

サンバは生きがいであり、生きる目標であり、人とのつながり、パワーがもらえると言います。「何にでもなれる」最後に私たちに最後メッセージをいただきました。

ダンス教室ではステップと手の動きを教わり、最後に輪になって踊り、円の中をあげまわりました。貴重な機会をありがとうございました。

○ サンバのリズムを刻んで



午後の授業サウンズで、先生から教わったリズムのとり方を最も受け持った先生お母さん(学年は異なります)です。サンバの1日でした。